

授業科目名	【G】	国際法Ⅰ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2	
	【EF】	国際法Ⅰ			選 択		【EF】3	【EF】2
科目区分	専門科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(一・一・公民・一)／【EF】一							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(一・一・公民必修・一)科目					【EF】	—
施行規則に定める科目区分又は事項等		教科に関する専門的事項:「法学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)」(高一種免公民)						
サブタイトル	国際社会の法 — その構造と作用			担当者	青木 隆			
授業概要	【概要】	条約、国際判例等を素材に国際法の「総論」を解説する講義です。具体的には、下記講義内容(各項目は、目安と考えてください。)を順に講述します。これが解っていれば日本の大学法学部生としてどこに行っても恥ずかしくないという水準を保ちたいと考えています。						
	【到達目標】	国際法学では、(1)国際社会をどのように捉えているか、(2)国際社会では法がどのように生まれ、変わるか、(3)法はどのように働いているか、を把握して、実際に生じる事象を理解し、評価できるようになる。						
履修条件	受講に際しては良識ある大学生として行動することを求めます。また、「国際法Ⅱ」を共に履修することを強く勧めます。							
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	— (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	— (当てはまらない)						
他科目との関連性	関連性「国際法Ⅱ」を共に履修することを強く勧めます。後期開講の「国際組織法Ⅰ」及び同「Ⅱ」受講に必須の内容を含みます。							
教科書	特定の図書は指定しません。体系は、杉原ほか『現代国際法講義』(有斐閣)最新版に準拠します。							
参考書	有斐閣『国際条約集』— 下欄で《 》で掲げた条約の条文を教室において参照できると講義の理解が深まるはずで、その他の文献を含めて、資料に関する情報については初回の講義で解説します。							
評価方法	原則として筆記試験(自筆ノート、配付資料及び条文のみ持ち込み可)の成績により単位認定および成績評価を行います(100%)が、受講態度(100点満点で10点まで)も加味する場合があります。オンラインで開講になる場合には変更があり得ますので、初回講義での説明に注意してください。							
フィードバック方法	質問は随時受け付け、可能な限り速やかに回答します。試験またはレポートについては、模範的な解答例を表示します。							
評価基準	試験において講義内容を理解していることを示したと認められる答案には「A」(うち特に優れたものには「S」)、理解や表現に不足があるものはその程度に応じて「B」または「C」、設問または講義内容の理解が著しく劣るものはその程度に応じて「D」または「E」(ともに不合格)とし、これに受講態度(質問票への記述の量および質(試験の評価基準に準じる。))に基づく。)を加味して受講者の評点とします。(未受験は「F」。)							
その他	講義の進度は、受講生の理解度や希望を勘案して調整しますので、場合により『国際法Ⅱ』または『国際組織法』に送られる項目があり得ることをご了承下さい。							

授業科目名	【G】 国際法 I	区分	開講年次	【G】 3	単位数	【G】 2
	【EF】 国際法 I	選択		【EF】 3		【EF】 2
授業回数	授業内容					
1	序:参考文献紹介、科目の実施態様や受講方法の解説など					
	予習:	このシラバスを通読して疑問点を探す。(90分)	復習:	疑問が解消されたか検討する。(90分)		
2	国際社会とはなにか:その構造と変容《国連憲章》					
	予習:	ウェストフアリア条約の意味を調べる。(90分)	復習:	国の平等・対等を考え、理解する。(90分)		
3	国際社会における戦争と法					
	予習:	正戦論の意味を調べる。(90分)	復習:	法の支配と力の支配を理解する。(90分)		
4	国際社会の法と国の法					
	予習:	(国の)三権分立を確認する。(90分)	復習:	両者の関係を理解する。(90分)		
5	国際法の主体と国の基本的権利義務					
	予習:	主権、自衛権の意味を調べる。(90分)	復習:	武力を行使する権利を理解する。(90分)		
6	国家管轄権とその行使					
	予習:	管轄権の意味を調べる。(90分)	復習:	配分と作用の原則を把握する。(90分)		
7	国の公式な交流《ウィーン外交関係条約》					
	予習:	上記条約の通読。(90分)	復習:	国と国際機構とそれらの関係を理解する。(90分)		
8	国際法の法源:総説、慣習法					
	予習:	法源の意味を調べる。(90分)	復習:	慣習法の意味と性質を理解する。(90分)		
9	国際法の法源:条約《ウィーン条約法条約》					
	予習:	上記条約の通読。(90分)	復習:	条約法の諸規則を把握する。(90分)		
10	国際法における個人《日米通商航海条約》					
	予習:	上記条約の通読。(90分)	復習:	国籍と外交的保護を理解する。(90分)		
11	国際法の遵守と違反の帰結					
	予習:	不法行為の意味を調べる。(90分)	復習:	陳謝、賠償、補償を理解する。(90分)		
12	国際責任《国家責任条草案》					
	予習:	上記文書の通読。(90分)	復習:	報復、対抗措置を理解する。(90分)		
13	国際紛争の平和的解決:外交的手段					
	予習:	憲章第6章の通読。(90分)	復習:	各手段の相違と実例を理解する。(90分)		
14	国際裁判の発展《国際司法裁判所規程》					
	予習:	上記条約の通読。(90分)	復習:	裁判利用の特殊性を理解する。(90分)		
15	補足とまとめ					
	予習:	今学期のノートを最初から見直し、疑問点を探す。(90分)	復習:	講義の全体像を把握し、目標到達を確認する。(90分)		

科目コード B621-1-X